

認定特定非営利活動法人

だいじょうぶ

2020 年度 事業報告

(2021 年 第 16 回総会資料)

日時：2021 年 5 月 30 日（日）

13：30～15：30

場所：子どもと親の相談室

総 会 次 第

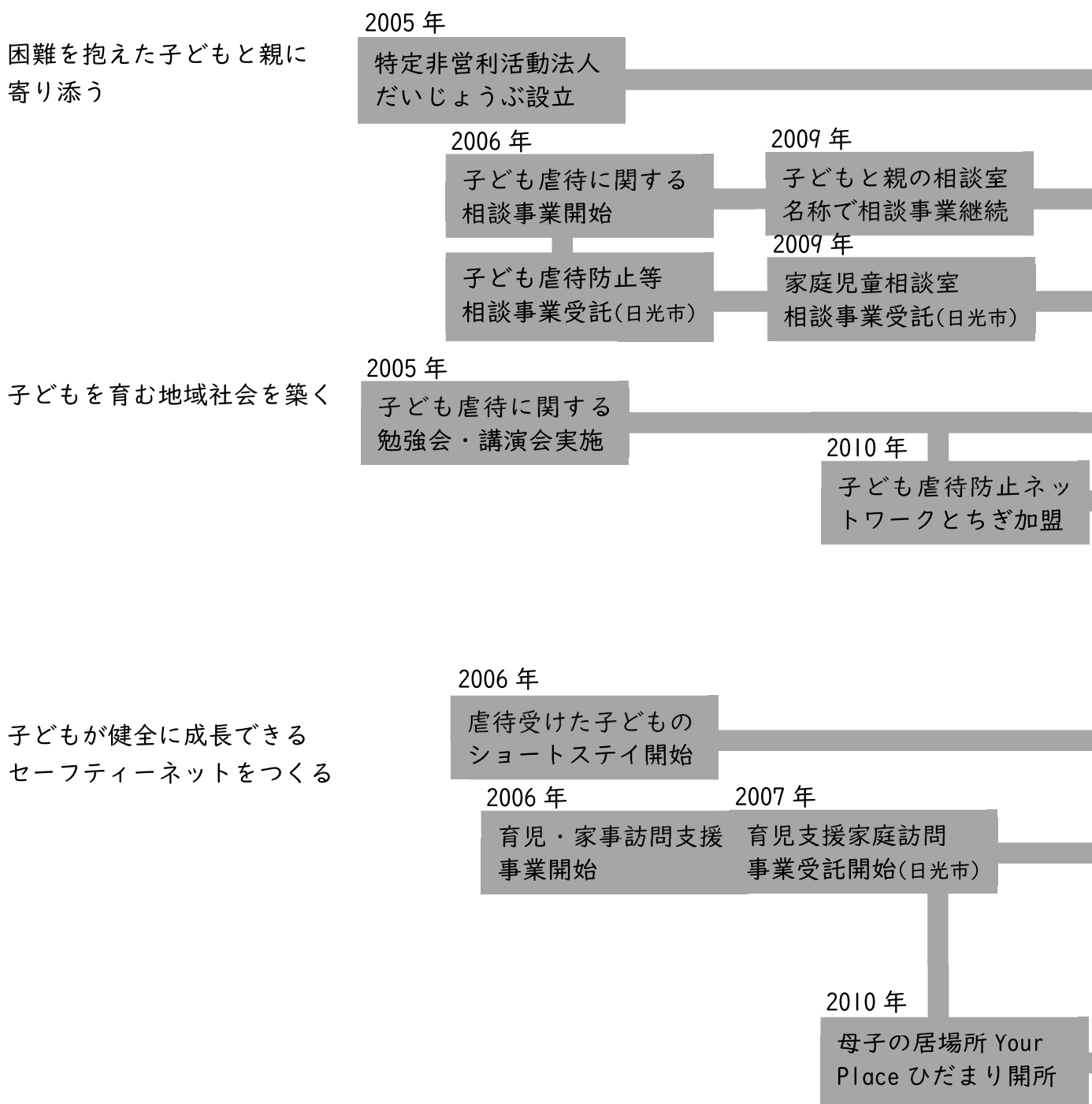
- 1、開 会
- 2、理事長あいさつ
- 3、議長選出
- 4、定足数の確認
- 5、書記及び議事録署名人の選出
- 6、審議事項

第 1 号議案	2020 年度事業報告について	P. 3～15
第 2 号議案	2020 年度決算報告及び監査報告について	P.16～21
第 3 号議案	2021 年度事業計画書（案）について	P.22～27
第 4 号議案	2021 年度予算書（案）について	P.28～30
第 5 号議案	役員改選について	P.31
第 6 号議案	理事長給与の変更について	P.31

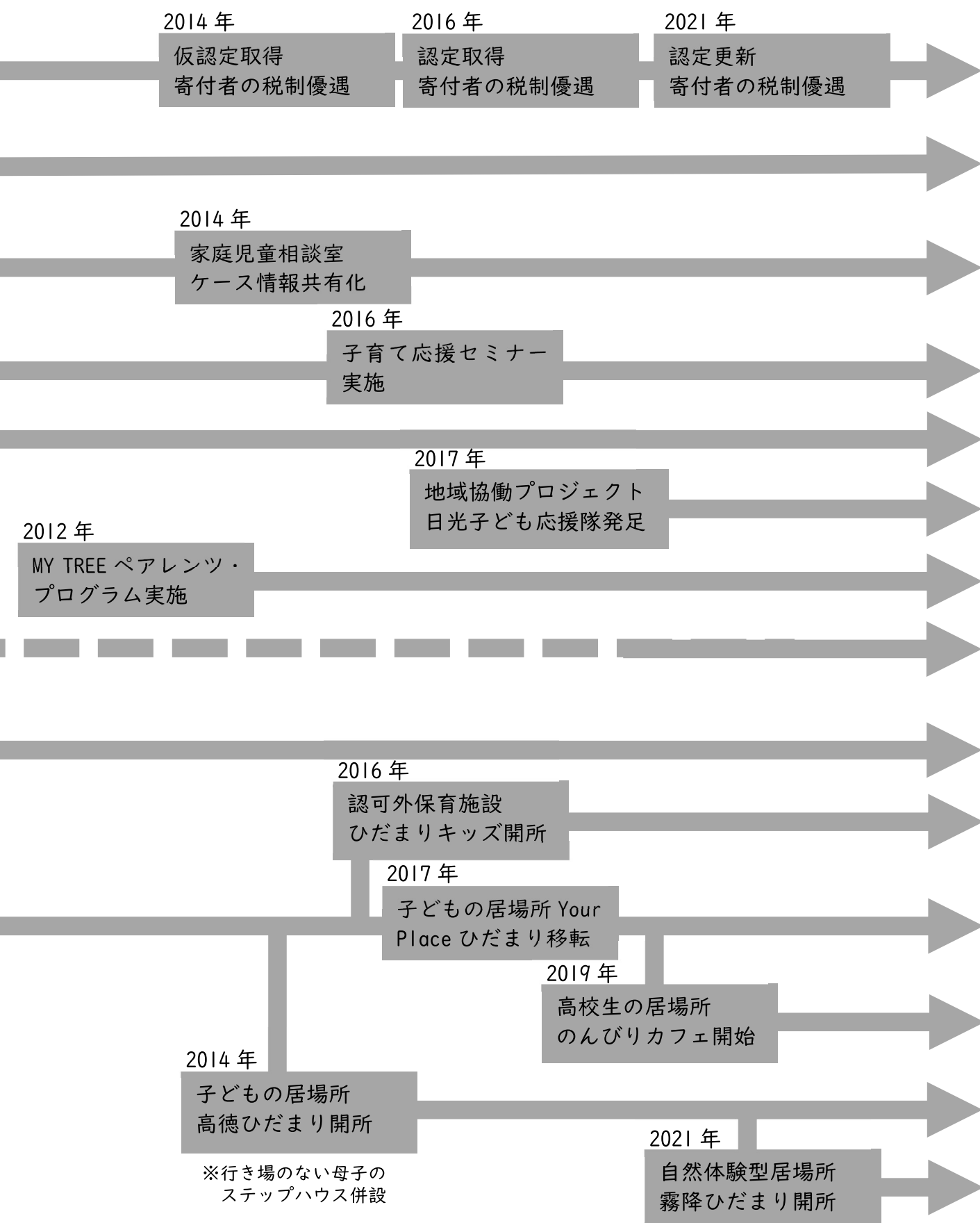
- 7、議長解任
- 8、その他
- 9、閉会

一人でも多くの子どもが「生まれてきてよかった！」と実感できる地域をつくります。

特定非営利活動法人だいじょうぶは、虐待や貧困、親の病気など様々な理由で家で安心して暮らすことのできない子どもたちとその家族に寄り添い、支えています。すべての子どもたちが生まれや環境に左右されずに他者との関りの中で成長できるよう、出会う子どもたちのニ-



ズに合わせて活動を生み出してきました。現在では、日光市との協働で取り組む相談事業を中心に、それぞれのケースに合わせて様々な支援を組み合わせ提供しています。



全体の報告

新型コロナウイルスの影響

学校の一斉休校、緊急事態宣言で始まった昨年、新型コロナウイルスの影響は私たちの活動にも大きな影を落としました。特に母子の居場所ひだまり、ひだまりキッズでは、関わるケースごとに家庭生活のリスクと感染のリスクを秤にかけ、家庭のリスクが高いケースを中心に家庭ごと、兄弟ごとの預かりを行いました。居場所で受け入れ切れない子どもは家庭ごとに外遊びに連れ出すなどしました。結果的に利用実績は減りましたが、その分、手厚く子どもに関わることができ、これまでには見られなかった落ち着きを見せる子がいるなど、良い面もありました。

当初、マスクや消毒液など、感染予防に必要な備品が不足した時期もありましたが、会員さんの勤める会社からマスクが届いたり、市や社協からマスクや消毒液をいただくなどして乗り切れました。他にも、地元テーマパークから定期的にお弁当やお菓子を提供いただいたりして、大変な中でも多くの人の支えを実感することも出来ました。

一斉休校は子育て中の家庭を、緊急事態宣言による移動自粛は観光地である日光・鬼怒川で働く家庭を直撃しました。子どもが家にいて働きに出られない、そもそも仕事が無くなる、子どものお昼代がかさむなどです。相談室で関わるご家庭から、収入が無くライフラインが止まった、食材が無いなどの相談が寄せられました。そこで、数年続くと思われる新型コロナウイルス感染症の影響を受ける、子育て中のご家庭を「食」の面から支えるべく、お米やおかずなどの食材セットの配布を行いました。

市町村子ども家庭総合支援拠点に、子どもの居場所に充当可能な国の補助金が

日光市は、厚生労働省の「市区町村子ども家庭総合支援拠点機能強化事業 児童虐待・DV対策等総合支援事業費国庫補助金」の「市町村相談体制整備事業加算」の中から「見守り活動推進費用」を子どもの居場所の運営費に充てる見込みです。つまり、市はこれまで市単独で負担していた居場所の委託費を、国に半分負担を求めることが可能になったのです。

そこで、日光市の一般財源負担を増やさずに、国の国庫補助を活用する形で、ひだまりキッズを拡充する、さらには霧降に自然体験型の居場所を新設することを含めて、子どもの居場所の委託費を増額できないか、日光市の担当者と検討を進めました。結果、ひだまりキッズと週3日分ですが霧降で居場所を運営できる委託費をいただける見込みとなりました。

間接的であり、条件付きではありますが、子どもの居場所が国の補助金の対象となる、つまり、国が子どもの居場所の必要性を認めてくれたと言えます。栃木県内各市に広がった子どもの居場所も、同様の国庫補助を活用した委託となりそうと聞いています。これが他県にも広がり、全国各地に子どもの居場所が広がるための制度が整ったことになります。私たちの長年の念願がかないました。ですが、社会福祉事業への列記はされず、委託費には消費税がかかる等課題があります。子どもの居場所が社会福祉事業に認められるよう、提言は続けていく必要があると考えています。

「日光市家庭児童相談室」※日光市と協働

「子どもと親の相談室」※だじょうぶ独自の相談室

事業内容

虐待や貧困、親の病気など、様々な理由で家で安心して過ごせない子どもとその家族に寄り添って、家庭環境を把握し、必要な支援を組み立てる司令塔を担っています。

日光市の家庭児童相談事業に、だじょうぶからアドバイザー１人と相談員２人が加わり、市と協働で取り組む相談窓口「日光市家庭児童相談室」と、年齢等の理由で日光市の家庭児童相談の対象外となるケースなどに対応する独自の相談室「子どもと親の相談室」とで対応しています。両方が同じ建物内にあるため、情報の共有、支援依頼、支援内容の調整・報告がスムーズにできています。

ケース情報が完全共有化され、対等に援助方針を話し合い、具体的な支援につなげられる、行政とNPOの協働のモデルになるような事例だと自負しています。

事業報告

<家庭児童相談室>

新型コロナウイルスの影響で、相談件数は16,252件から14,793件と減少していますが、新規でつながった要保護児童数は181件から262件と増加しています。より深刻な相談の割合が高くなっていると言えるでしょう。また、身体的虐待、心理的虐待が増えており、新型コロナウイルスによる、精神的な影響、経済的な影響が、保護者を通して子どもたちに向かっていることがうかがい知れます。

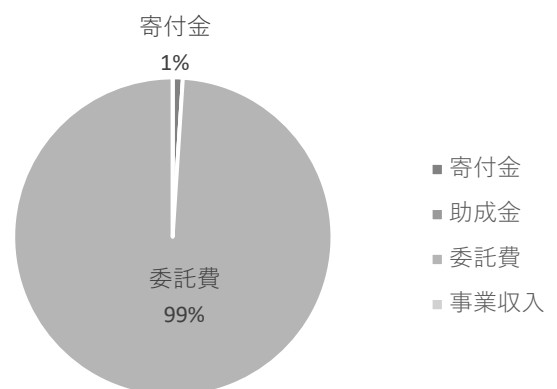
<子どもと親の相談室>

平日時間外と土日祝日の相談件数が501件から566件と増加しています。中でも、来所相談(4件→10件)、訪問相談(2件→29件)が増えています。

また、相談支援の一環として、困窮した子育て家庭を対象に、食材の配布会を実施しました。



収入内訳



実施日時	毎日 24 時間	従事者数	7 人	事業費の金額	10,066,982
実施場所	日光市家庭児童相談室、子どもと親の相談室、休日時間外相談担当者自宅、等				
受益者数	新規受理数: 要保護児童 161 人 / 特定妊婦 18 人・要支援児童 62 人				

「ショートステイ事業」

事業内容

母親の入院や出産、不適切な養育などで、一時的に子どもが家庭で過ごすことが困難になった場合や、虐待を防ぐための母親の休息のため、お子さんを数日～1週間程度お泊まりで預かり、養育する事業です。

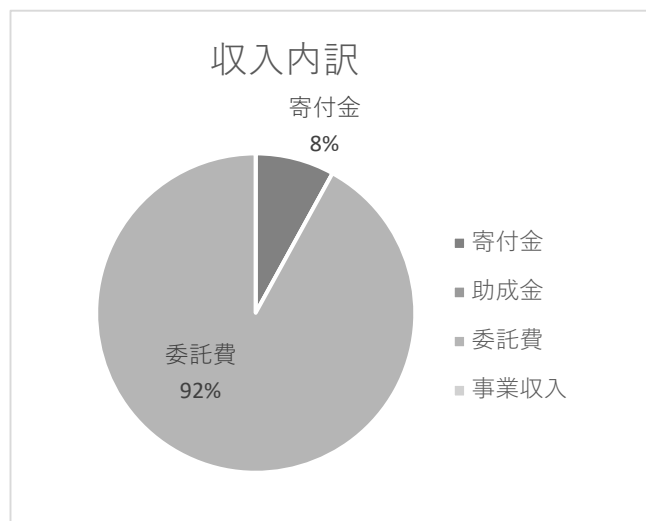
ファミリーホーム虹の家や、キリフリ自然学校、地域の里親さんに委託したり、ひだまりに職員が泊まり込むなどして対応しています。日光市からの委託だけでなく、過去には家出をした高校生の SOS を受け止め、泊まってもらったケースもあります。

事業報告

7/23～24	2人(8歳、6歳)	キリフリ自然学校	虐待防止のための父親のレスパイト
8/1～2	2人(8歳、6歳)	キリフリ自然学校	虐待防止のための父親のレスパイト
8/10～16	1人(7歳)	虹の家&里親宅	母の出産入院
11/4～5	1人(13歳)	キリフリ自然学校	家を閉め出され緊急保護
11/15～17	1人(6歳)	虹の家	母の出産入院
11/17～20	1人(2歳)	虹の家	母の離婚・失踪
12/18～19	2人(9歳、7歳)	虹の家	母の出産入院
12/26～27	2人(8歳、6歳)	キリフリ自然学校	虐待防止のための父親のレスパイト
1/9～1/18	1人(14歳)	里親宅	虐待防止のための母親のレスパイト
3/25～3/31	2人(8歳、6歳)	虹の家、自然学校	祖父母の療養、レスパイト



※イメージ写真



実施日時	随時	従事者数	4人	事業費の金額	339,441
実施場所	ファミリーホーム虹の家、キリフリ自然学校、市内里親宅、YourPlace ひだまり				
受益者数	日光市内の保護が必要な子どもたち、延べ15人				

「食べて・遊んで・学んで育つ日光子ども応援隊」 「講師派遣事業」、「子育て応援セミナー」等

事業内容

子ども虐待、子どもの貧困の課題を広く市民に伝え、子どもが大切にされる社会をつくるために、県内外からの依頼に応じた講演会への講師派遣、子ども応援隊（協働プロジェクト）への参画、等
＜子ども応援隊＞

多様な主体による、子どもの貧困の課題解決に向けたプロジェクトです。地域の子どもたちが、生まれや環境によって自分を諦めることがないよう、その気になればチャレンジできる環境を整えるために、様々な事業を行っています。日光市の子どもの貧困の現状を「調べ」、「課題を見つけ」、「対策を練り」、「活動」しています。

参画主体：スマイル日光プロジェクト、S&S セミナー、NPO 法人和音、NPO 法人楽ッ子の会
ワンプレート、キリフリ自然学校、個人有志、だいじょうぶ

事業報告（※講師派遣実績は「その他」のページに記載）

・プロジェクト会議：7 月、9 月、10 月、11 月、3 月の 5 回開催

・子どもの食生活実態調査

学校の協力を得て、市内小中学校の小 2、小 5、中 2 年生にアンケートを実施

学校とのアンケート結果の話し合いから 2 つの支援プロジェクトが生まれた。

①日光東中学校 朝カフェ：月 2 回、空き教室を借りて、始業前に飲食ができるカフェを実施

10/12～緊急事態宣言中の休止をはさみ、4 回開催

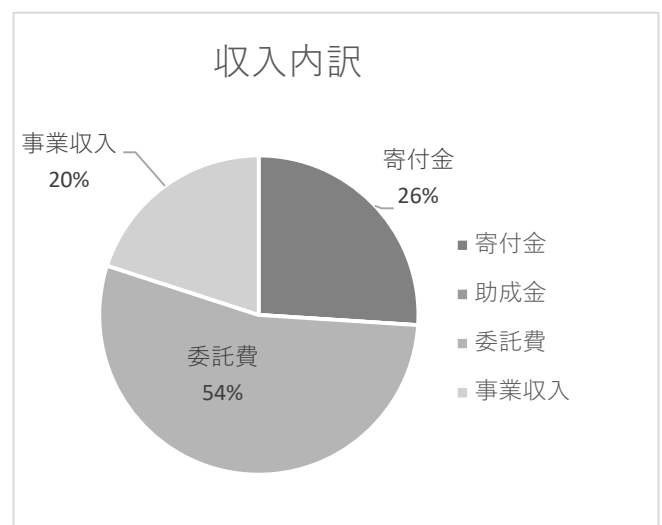
②今市小学校 男子生徒 1 名の朝食を学校に届ける。

先生のお迎えて登校、保健室で食事をとってから教室へ。

・100 人パーティ：新型コロナウィルス感染予防のため中止



朝カフェの様子



実施日時	随時	従事者数	4 人	事業費の金額	55,394
実施場所	講師派遣：県内外各所		子ども応援隊：市内各所		
受益者数	講師派遣：全国、多数		子ども応援隊：朝カフェ各回約 20 人、朝食届け 1 人		

「MY TREE ペアレンツ・プログラム」

事業内容

「虐待行動に至ってしまう親」・・・実はその多くは、これまで人として大切にしてもらえなかった痛みや悲しみ、心の傷を抱え、孤立した子育て等過酷な状況の中で、その痛みや悲しみが怒りとなって爆発し、暴言や暴力として子どもに向けてしまう方なのです。

このプログラムは、「怒り」の裏側にある痛みや悲しみ、心の傷に目を向け、回復を促すプログラムです。自分自身を大切にできるようになることで、子どもへの「怒り」の爆発が減っていきます。

2012 年度から毎年実施、2020 年度で 9 回目となります。プログラムの運営は、研修を積んだ専門スタッフが担当しています。

事業報告

・実施日時:9 月 8 日～12 月 22 日(全 13 回連続講座) 各回 13:30～16:30

他に個別にインテイク面接、中間面接、終了時面接を実施。3 月 16 日に同窓会も実施

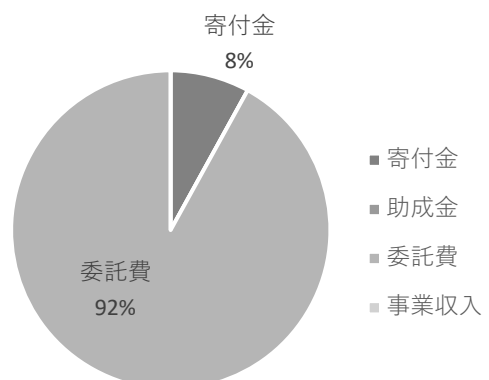
・参加者数:5 人

・参加者の声(プログラムを受けてどのような変化がありましたか?)

- ・カーッとなる時間が短くなった。怒る時間が少なくなった。
- ・一人で抱え込まないように、頼れるようになった(主人、電話)。
- ・子どもとのやり取りが、以前より良くなったと感じる。
- ・穏やかでいられる日が増えた。 ・気持ちのクールダウンができるようになった。
- ・子どもとのやり取りで、感情の爆発が無くなり、手をあげないことで安心感が生まれた。



収入内訳



実施日時	9/8～3/16	従事者数	3 人	事業費の金額	1,146,046
実施場所	とちぎ福祉プラザ、他				
受益者数	子どもを虐待してしまう母親 5 人				

子育てヘルパー 「育児・家事 訪問支援事業」

事業内容

支援の必要なご家庭を訪問し、育児や家事のお手伝いをしたり、病院や学校、役所への送迎・同行をしたりします。母親の休息のために乳幼児の託児も行っています。

※託児について、これまで「育児支援」の枠ではなく、「保育」の枠での事業受託を目指して日光市と協議してきました。今年度の協議で、2021年度より、子どもの居場所の枠で事業受託がされる見込みとなりました。



事業報告

新型コロナウイルスの影響で、実績が減っています。特に同行送迎支援は2019年度の241件から134件と大きく減少しています。

<委託事業内訳>

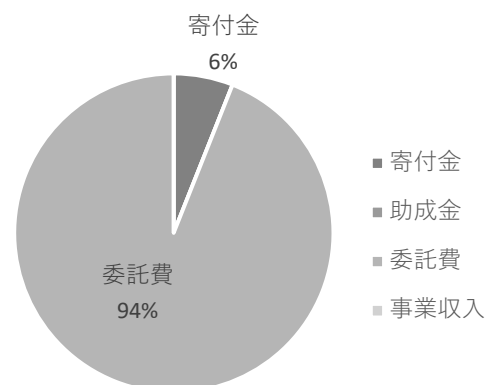
・託児 444 件
・家事支援 27 件
・同行支援 21 件
・送迎支援 103 件
合計……595 件

<自主事業内訳>

・託児・居場所 4 件
・同行支援 3 件
・送迎支援 7 件
・散髪支援 12 件
・掃除・ゴミ廃棄 3 件
・食料支援 18 件
・洗濯支援 1 件
・その他 17 件
合計……74 件



収入内訳



実施日時	ニーズに応じ随時	従事者数	8人	事業費の金額	579,139
実施場所	Your Place ひだまり、高德ひだまり、ひだまりキッズ、ニーズに応じ市内各所				
受益者数	日光市民 669 人(件)				

支援が必要な乳幼児の認可外保育施設「ひだまりキッズ」

事業内容

育児疲れや、育児不安等で子どもの養育がままならないケース等、支援が必要な乳幼児を、保育園入園までの間一時的に預かり、保育しています。

スキンシップや声掛け、受け止めを大切に、母親のように、お祖母ちゃんのように保育しています。家族に移動手段がない場合、送迎も行っています。居場所を求めている母親も多いことから、母子での利用も可能な限り受け入れています。

平日 9 時～17 時開所（土日祝日は休み）

事業報告

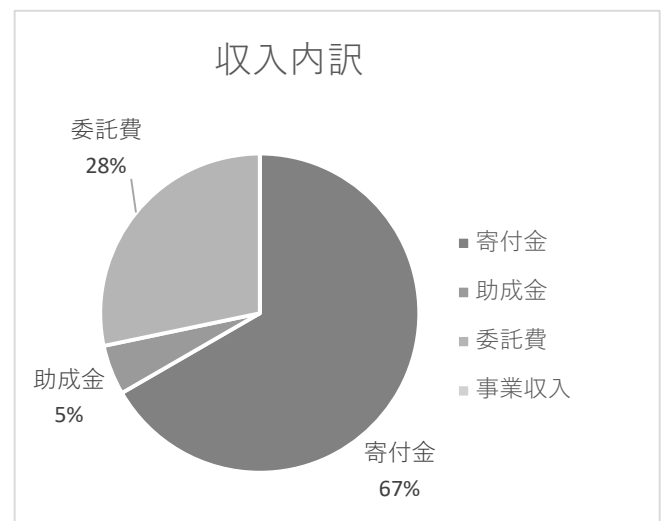
新型コロナウイルスの影響で、預かりを 1 家族ごとにするなどしました。また、外出自粛の影響もあり、利用件数が、2019 年度の 435 件から、305 件と 130 件減っています。そんな中でも、定期利用した 4 人を始め、6 人の子が一般の保育園、幼稚園につながりました。1 ケース 3 人の子どもは、母親のレスパイトの為、保育園終了後の夕方の預かりを行いました。

新型コロナウイルス感染症予防のため、検温や消毒、換気等に気を使っの運営でした。

- ・開所日数:224 日
- ・利用者数:乳幼児 27 人+母親 5 人 延べ乳幼児 305 人+母親 12 人利用 1.4 人/日利用
- ・職員 11 人 が延べ 451 人従事 2 人/日従事

ひだまりキッズ月別実績

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
キッズ開所	20	18	20	21	18	20	21	19	15	12	18	22	224
キッズ利用	22	20	24	38	45	31	33	36	14	11	13	18	305



実施日時	平日週 5 日	従事者数	11 人	事業費の金額	5,650,947
実施場所	ひだまりキッズ				
受益者数	日光市在住の乳幼児とその母親 32 人 延べ 317 人(件)				

～地域にあるもう一つの家～ 子どもの居場所「ひだまり」 Your Placeひだまり(今市地区) / 高德ひだまり(藤原地区)

事業内容

家庭支援に入れない子どもを、家に入れないなら連れ出そう!と発想し、つくりました。

家で安心して過ごせない子を、放課後学校や家にお迎えに行き居場所に連れてきます。居場所では、皆で遊び、食卓を囲み、必要に応じて入浴や洗濯もして、あとは寝るだけにして家に送ります。子どもにとって、「もう一つの家」、「おばあちゃんち」のように、優しく受け止めてもらえる、安心して過ごせる居場所であることを、何より優先しています。ひだまりでは、日常の生活支援だけではなく、長期休みや休日のイベント開催、外遊びへの連れ出し等、不足しがちな体験を補う事業も行っています。

栃木県が、ひだまりをモデルに、子どもの居場所づくりを市町に呼びかけ、宇都宮市や小山市等に 7 か所の子どもの居場所が立ち上がっています。

事業報告

新型コロナウイルス感染予防のため、居場所の利用人数を減らし、家庭の生活リスクの高い子を中心に預かりしました。生活リスクの低い子は、食材を届けるなどして安否確認を行いました。一斉休校中は、個別に外遊びへの連れ出しも行いました。新型コロナウイルスのことがわかってくるにつれ、施設消毒、手指の消毒、検温、換気等の予防策をとりながら、徐々に利用人数を元に戻してきました。

やむを得ずの少人数利用でしたが、結果的に 1 人ひとりの子に手厚く関わることができました。多くの子が、普段大勢の中で見せないような落ち着いた様子を見せ、少人数の預かりの良さを痛感しました。

Your Place ひだまり、高德ひだまりの月別実績

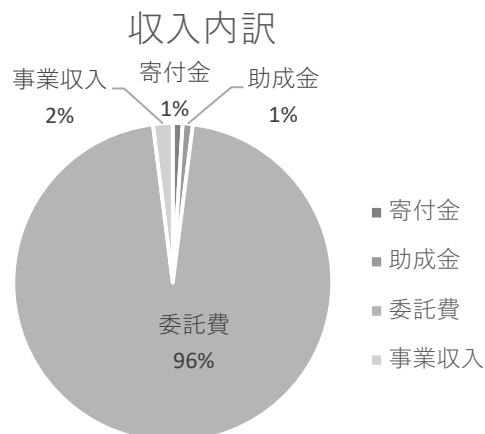
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
ユアプレイス開所	17	16	26	25	17	24	26	23	23	18	23	26	264
ユアプレイス利用	49	42	79	80	68	74	87	82	91	84	90	96	922
高德開所	15	15	21	19	14	20	22	19	18	15	18	21	217
高德利用	26	29	47	36	36	53	58	53	48	35	60	59	540

<Your Place ひだまり>

- ・264 日開所 延べ 922 人利用 3.5 人/日利用
- ・職員 19 人が延べ 682 人従事 2.6 人/日従事
- ・ボランティア 9 人が延べ 49 人従事

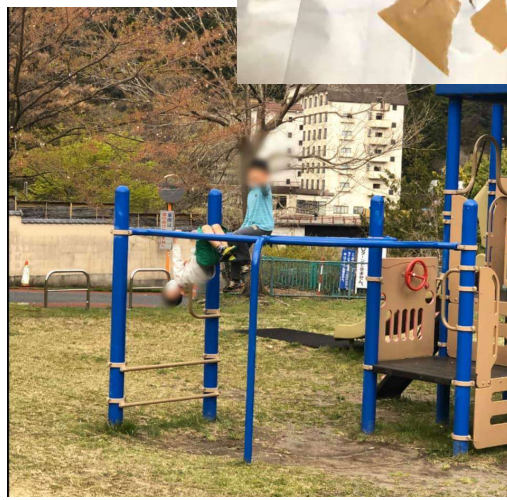
<高德ひだまり>

- ・217 日開所 延べ 540 人利用 2.5 人/日利用
- ・職員 14 人が延べ 575 人従事 2.6 人/日従事
- ・ボランティア 6 人が延べ 12 人従事



実施日時	平日+随時土日祝	従事者数	職員 33 人/ボラ 15 人	事業費の金額	14,842,175
実施場所	Your Place ひだまり、高德ひだまり、キリフリ自然学校、市内各所				
受益者数	日光市内在住の支援が必要な子ども 延べ 1,462 人(件)				

子どもたちの様子



⑤子どもが健全に育つ環境づくりを支援する事業 子どもが健全に成長できるセイフティネットをつくる

生活困窮者自立支援法に基づく子どもの学習支援事業（日光市委託） 高校生の中退防止事業「のんびりカフェ」・社会的な居場所づくり事業

事業内容

<高校生の中退防止事業「のんびりカフェ」>

日光市在住及び日光市の高校に通う高校生＆高校生世代の若者を対象としています。

高校中退を防止し、高校卒業＆就労等、社会的自立を目指す事業です。土曜日開催の居場所「のんびりカフェ」と、カフェ等で培った人間関係をもとに相談対応や食材提供等を行う訪問支援を行っています。カフェでは、のんびりと音楽を聴いたり、ボードゲームをしたり、卓球をしたりと、好きなことをして過ごします。希望に応じ、相談に乗っています。

<社会的な居場所づくり事業>

※子どもの居場所事業のページを参照してください。

事業報告

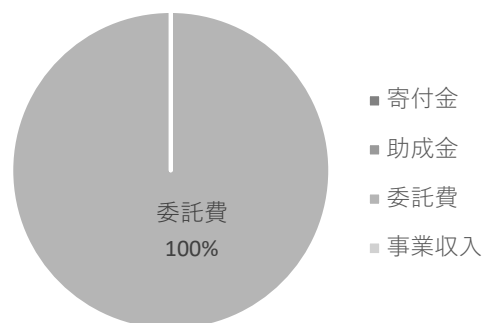
年度当初は、新型コロナウイルスの感染予防のため、Zoom を使ったりリモートによる居場所開催をするなどしました。地域の感染状況が落ち着いてからは、消毒や体調管理、マスクの着用を徹底しながら、実際に顔を合わせての開催としました。

新規利用者の発掘が課題で、子どもの居場所ひだまりを卒業した中高生が利用の中心になっています。第 2、4 土曜日は中学生も参加 OK の日として、中学生の利用も歓迎しています。

のんびりカフェと連動して、中学 2 年生から高校生の希望者を対象として、勉強会も実施しました。第 1、3 土曜日は 10:30～12:00+昼食提供、第 2、4 土曜日はカフェ終了後 15:30～17:00 です。元教員のボランティア 2 人と職員が勉強を教えています。



収入内訳



実施日時	第 1～4 土曜、他	従事者数	職員 5 人 ボラ 2 人	事業費の金額	3,384,679
実施場所	Your Place ひだまり、利用者宅等				
受益者数	日光市内在住の高校生等 10 人 カフェ:延べ 55 人 訪問支援等:延べ 181 人(件)				

生活困窮者自立支援法に基づく子どもの学習支援事業（日光市委託） 学力向上を図る学習支援事業

事業内容

生活困窮家庭の中学校 2・3 年生を対象とした、無料の学習支援事業です。

中学 2 年生の学習支援と遠方への講師派遣を株式会社フィデス、中学 3 年生の学習支援を S&S セミナー、会場まで自力で行くことが難しい子どもの送迎をファミリーサポートセンターに委託しています。

事業報告

<派遣型>※6 月から開始

対象者：中学 3 年生 1 人 3~4 回/月で計 34 回実施

<中学 2 年生>※6 月から開始

対象者：31 人が登録、26 人が利用 週 2 回開催で延べ 829 人が利用

<中学 3 年生>※5 月末から開始

対象者：41 人が登録、39 人が利用 2 クラスに分け、週 2 回開催で延べ 2061 人が利用

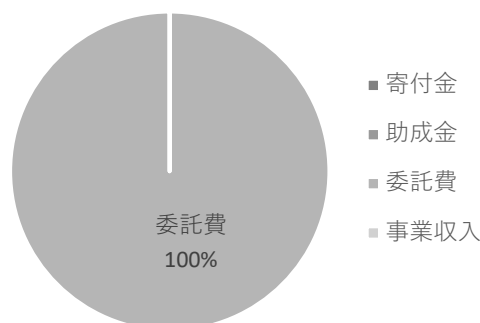
<送迎支援>

対象者：中学 3 年生 11 人、中学 2 年生 3 人が利用 延べ 802 人が利用

実施日時	中 2：火・土曜日 派遣：土曜日 中 3：水・木・土曜日
従事者	株式会社フィデス S&S セミナー ファミリーサポートセンター
事業費の金額	16,749,718
実施場所	市内各所
受益者数	日光市内中学 2・3 年生 66 人

※委託残額 1,239,731 円を 2021 年度に返還

収入内訳



母子の自立に向けた「ステップハウス」

事業内容

離婚や生活困窮、退職で寮を出されたりして行き場を失った母子に、3 か月を目安に無料で住まいを提供しています。利用中に、AP の敷礼金等自立に向け必要な資金を貯めていただきます。

実施日時	実施せず	従事者数	実施せず	事業費の金額	0
実施場所	実施せず				
受益者数	実施せず				

その他の動き

事業内容	実施内容
① 総会、理事会の開催	<ul style="list-style-type: none"> ・総会 5月30日 第15回通常総会 ・理事会 5月20日 第1回理事会(総会議案) 9月16日 第2回理事会(上半期の報告、下半期の計画、他)
② 通信の発行	<ul style="list-style-type: none"> ・6月10日 「だいじょうぶ通信 32号」NHK取材報告、他 ・9月30日 「だいじょうぶ通信 33号」緊急レポート・コロナ禍の影響、他 ・2月10日 「だいじょうぶ通信 34号」スタッフ研修の報告、他
③ 講演会、研修への参加	<ul style="list-style-type: none"> ・5月27日 zoomを使ったビデオ会議の使い方講座 ・6月25日 フォスタリング機関(仙台)視察 ・7月16日・9月7日 子どもの居場所専門研修会 ・12月10日 日光市虐待防止セミナー ・1月7日 職員全体研修「マインドフルネス」 ・2月1～5日 フォスタリングチャレンジプログラム zoom 研修 ・2月9日 ファミリーホーム関東ブロック zoom 研修 ・2月16日 里親会 zoom 研修 おおきな木主催 マネジメント研修 ・3月4、9、19日 zoom 研修 <MYTREE ペアレンツプログラム関連> ・6月6、13日 MYTREE コメントカスキルアップ研修 ・6月7日 MYTREE 総会、バックグラウンド研修会 ・11月28日 MYTREE トレーナー研修 ・12月5日 MYTREE 関東グループ zoom ミーティング ・3月14日 MYTREE 関東コメント返し研修
④ 他団体との交流	<ul style="list-style-type: none"> ・6月9日、3月1日 子どもの居場所連絡協議会 zoom 会議 ・7月21日～4回 子どもの虐待防止ネットワークとちぎ(星の家)
⑤ 講座等実施	<ul style="list-style-type: none"> ・8月1日 コロナ支え合い基金 寄付&活動説明会
⑥ 講師派遣	<ul style="list-style-type: none"> ・6月3日 高等学校人権教育実践研究会 ・6月11日 宇都宮大学講義 ・11月6日 日光市子育て応援セミナー ・12月2日 県西健康福祉センター主催講演会 ・1月22日 子どもの居場所専門研修会…他、全10回
⑦ 見学受入	<ul style="list-style-type: none"> ・9月5日 チャイルドラインとちぎ ・9月23日 ヨゼフ幼稚園教諭 ・10月1日 宇都宮大学地域デザイン学科生インタビュー ・10月9日 宇都宮大学地域デザイン学科生インタビュー ・11月25日 立教大学学生 Zoom インタビュー……他、全11件
⑧ メディア	<ul style="list-style-type: none"> ・5月19日 V ネットラジオ「みんな、がけっぶちラジオ」出演 ・5月25日 ニッポン放送「阿部亮の NGO 世界一周」出演

事業内容	実施内容												
⑨ 取材	<ul style="list-style-type: none"> ・4月23日～ NHK 電話取材 ・5月11日 ニッポン放送 Skype 取材 ・10月19日 とちぎテレサービス取材 ・11月9日 下野新聞取材 ・1月22日 毎日新聞取材……他 												
⑩ 各種委員会等への参加	<ul style="list-style-type: none"> ・6月26日 日光東中学校学校評議員 ・7月7日 栃木県じぶん未来学企画委員 ・11月4日 日光市福祉のまちづくり推進委員会今市地区委員 ・12月17日 日光市地域福祉計画評価委員 												
⑪ 資金集め	<ul style="list-style-type: none"> ・12月20日 子どもの貧困撃退♡チャリティー サンタ de クリーン大作戦参画 												
⑫ 物資の寄贈	<p>○育児支援家庭、母子の居場所「ひだまり」宛てに食品や日用品などの生活物資を寄贈いただいた。件数は300件にものぼる。</p> <p><物資提供をいただいた皆様></p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人有志の皆様 ・団体: <table border="0"> <tr> <td>フードバンク宇都宮</td><td>フードバンク日光</td></tr> <tr> <td>太子食品工業株式会社</td><td>無量山専念寺</td></tr> <tr> <td>だいやの森旬菜館</td><td>JA かみつが</td></tr> <tr> <td>とちぎコープ</td><td>カーブスショッピングプラザ日光</td></tr> <tr> <td>国際ソロプチミスト宇都宮</td><td>コメール・アミーゴス</td></tr> <tr> <td>東京リアルリンクアネックス</td><td>日光江戸村</td></tr> </table> 	フードバンク宇都宮	フードバンク日光	太子食品工業株式会社	無量山専念寺	だいやの森旬菜館	JA かみつが	とちぎコープ	カーブスショッピングプラザ日光	国際ソロプチミスト宇都宮	コメール・アミーゴス	東京リアルリンクアネックス	日光江戸村
フードバンク宇都宮	フードバンク日光												
太子食品工業株式会社	無量山専念寺												
だいやの森旬菜館	JA かみつが												
とちぎコープ	カーブスショッピングプラザ日光												
国際ソロプチミスト宇都宮	コメール・アミーゴス												
東京リアルリンクアネックス	日光江戸村												
⑬ 物資の支援	<p>○生活困窮家庭への物資支援実績(合計111家庭に、延べ414件支援した。)</p> <p>ひだまりを利用しているなどだじょうぶで関わる家庭だけではなく、新型コロナウイルスの影響で困窮する家庭への支援が増えてきている。特に、子育て中のご家庭向けに広く食材の配布会を実施した。</p> <p><配布会></p> <ul style="list-style-type: none"> ・非常食セット配布会 6/25 ・食材セット配布会 12/23、12/26、1/30、2/27、3/27 <p><内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・乾麺や調味料、缶詰、レトルトなどの食品 251件 ・お米 (956kg) 185件 ・衣類 34件 ・育児用品 14件 ・入学&進学準備品(学用品・制服&ジャージ) 28件 ・その他 33件 												

※その他の事業「バザー」実施せず。